

徳島県英語指導研究会 令和6年度活動報告

徳島県立城ノ内中等教育学校 和泉 太輔

1 はじめに

本研究会は、活動の目的として次の2点を掲げている。1つ目が、英語教育における指導法・実践研究等の研修環境を外国語学会会員へ提供すること。2つ目が、学習指導要領における授業実践に向けて、英語ディベートの県内の普及を推進することである。今年度、ご協力いただいた先生方に感謝の意を示すとともに、今年度の活動を振り返りながら、次年度への展望を考えたい。

2 活動記録

4月～ ①今年度の年度計画の策定 ②メーリングリスト参加依頼・調整

6月9日 パーラメンタリーディベート生徒向けオンライン練習会

(講師：大賀哲 [九州大学])

8月～2月 第7回徳島県英語ディベート大会担当者会(複数回) (Zoomにて)

9月22日 徳島県英語指導法改善セミナー(共催：(株)ベネッセコーポレーション)(徳島北高にて)

11月3日 HEnDA 徳島県予選運営サポート (Zoomにて)

議題：Resolved: That the Japanese government should abolish all nuclear power plants in Japan.

(日本政府は、原子力発電所を全て廃止すべきである。是か非か。)

参加校：徳島北、城ノ内(計2校) 優勝：城ノ内

城ノ内が12月21～22日 第19回全国高校生英語ディベート大会 in 岡山に出場

【徳島県代表：城ノ内、結果：19位 [64位中] (2勝 3分 1敗：7 votes)】

11月24日 徳島県パーラメンタリーディベートオンライン練習会(オンライン)

参加校：城東、徳島北、阿波、まると高専(計4校)

2月11日 第7回徳島県英語ディベート大会【HPDU 連盟杯徳島県予選】(オンライン)

参加校：城東、徳島北、富岡西、阿波、城ノ内(計5校)

優勝：城ノ内 準優勝：徳島北

3 今年度の成果と課題

[成果]

- (1) (株)ベネッセコーポレーション様からご協力をいただき、徳島県英語指導法改善セミナーを初めて実施することができた。ライティング指導でご著名な立命館大学の山下美朋准教授を講師に招きご講演いただき、また、徳島北高の浅田真吾教諭が実践発表を行った。県内の英語教員が集まり、英語指導について学ぶ機会を提供することは、本研究会設立時からの目標の一つであり、今後もこのような機会を提供していきたい。
- (2) 西日本において、パーラメンタリーディベート普及に尽力されている九州大学の大賀哲准教授を講師に招き、生徒対象のパーラメンタリーディベート講習会を提供できた。また、11月には

パーラメンタリーディベート練習会を実施し、県立学校以外からも参加いただき、盛大に実施できた。

- (3) 運営のサポートをさせていただいた準備型英語ディベート（HEnDA）では、全国大会で本県代表チームが非常に優秀な成果を挙げることができた。パーラメンタリーディベートでも、2年連続で本県から2校がHPDU連盟杯（全国大会）に出場を果たす等、着実に実績を積み上げており、四国の英語ディベートは徳島県と認知されつつある。

【課題】

- (1) 運営スタッフが少ない点が課題である。少しでも、先生方が気軽に仲間に入れる雰囲気作りを心がけ、継続的に運営できる組織作りをする必要がある。是非、興味のある先生方、一緒に活動しませんか？
- (2) 英語ディベートの指導に興味はあるが、指導できる自信がないというご意見をよく頂戴する。最近、メディアで取り上げられたが、県外では英語ディベート熱が急速に高まっている。英語ディベートの指導者向け講習会を企画する等して、県内への普及活動を継続する必要がある。

4 今後の展望

英語指導研究会としては、引き続き、英語ディベートの県内への普及に尽力するとともに、教員が学び合う機会を定期的に提供する。特に、最近話題のISLA等に焦点を当てつつ、研究と実践の融合を図りながら県内の先生方が授業展開できるための機会を提供することで、徳島県英語教育の発展に貢献していきたい。

5 終わりに

向井学会長のご尽力のおかげで開始した徳島県英語ディベート大会は今年度7回目を迎えることができた。多くの皆さまのサポートをいただき、少しずつ本研究会の活動も前進している。今後も徳島県英語教育の発展に向けて、英語教育の進歩に対して、常にスタッフ自身が視野を広げながら、時代に沿った活動を行なっていきたい。今年度も無事に活動を終えられたのは、ディベート大会やセミナーの運営等を引き受けてくださった先生方、(株)ベネッセコーポレーションの皆さま、向井学会長をはじめとする徳島県外国語学会所属の先生方のおかげである。この場をお借りしてお礼を言わせていただきたい。皆さま、今年度はご協力ありがとうございました。次年度もどうぞよろしくお願いいたします。